

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成27年度 事業報告書

公1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。

- ・発行回数：年4回（6月、9月、12月、3月）
- ・発行部数：各号4,500部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第71号	H27. 6. 20	(特集) 元吉町まちづくり部始動！～まちづくりの新たな息吹き～ 他
第72号	H27. 9. 20	(特集) 京町家を残すために－公的指定制度の活用メリット－ 他
第73号	H27. 12. 20	(特集) シンポジウム「創造のまち・上京」－伝統から創造する上京の可能性－ 他
第74号	H28. 3. 20	(特集) 広がる、京町家再生の可能性 他

イ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

(ア) 冊子等の販売

書籍名	発行者
①なるほど！「京町家の改修」	(公財)京都市景観・まちづくりセンター
②京町家の再生	(公財)京都市景観・まちづくりセンター
③わたしの家物語	(公財)京都市景観・まちづくりセンター
④京のまちづくり史	株式会社昭和堂
⑤大学的京都ガイド	株式会社昭和堂
⑥京都・岡崎年代史	京都岡崎魅力づくり推進協議会
⑦Kyoto Machiya Restaurant Guide	Judith Clancy
⑧町家型共同住宅設計ガイドブック	京都市

(イ) 京町家関連グッズの販売

商品名	販売者
①京町家等の組み立て式キット	株式会社さんけい
②京町家の鍾馗さんキーホルダー	(公財)京都市景観・まちづくりセンター
③京町家レターセット	(公財)京都市景観・まちづくりセンター

(2) 景観・まちづくり大学等

ア セミナー・研究会 <景観・まちづくり大学>

住民の主體的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの地域を理解し、自らの役割として自覚し、行動する取組を推進するために、地域リーダー及び新たな担い手を養成するためのセミナーを実施し、活動のきっかけづくりとなる機会を提供するとともに、市民や学生のまちづくりへの参画意識の向上を図った。また、京町家の保全・再生に向けて、京町家の価値を再考するとともに、主に京町家の所有者、居住者を対象に京町家の維持管理等に対する基本的な課題解決を図った。

(ア) 京のまちづくり史セミナー

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学び、これからのまちづくりを考えるきっかけとするため開催した。京都のまちの成り立ちについて、「人々の活動」と「自然環境」の視点からカリキュラムを設定するとともに、社会的に関心の高いテーマや受講者アンケートによるリクエストの多いテーマを積極的に取り入れ、受講者のまちづくりへの関心を高めた。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H27. 4. 28	京を住みこなす:古代から中世へ	高橋康夫氏 (花園大学教授、京都大学名誉教授)	50	37
H27. 6. 30	近代京都の建設:土地区画整理事業を中心に	中川理氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	50	37
H27. 7. 30	鴨川の治水事業と都市デザインの変容:昭和大水害を中心に	植村善博氏 (佛教大学歴史学部教授)	50	41
H27. 8. 19	京都の町家と火消衆:大火と町並みに関連して	丸山俊明氏 (京都美術工芸大学工芸学部教授)	50	34
H27. 8. 28	近代京都の景観整備:嵐山・嵯峨野イメージの再生と創造	中嶋節子氏 (京都大学大学院 人間・環境学研究科教授)	50	36
H27. 9. 24	近代仏教と都市景観:アジアと京都のつながり	山田協太氏 (京都大学地域研究統合情報センター特任助教)	50	27
H27. 10. 24	《上京プロジェクト事業》 豊臣秀吉の京都改造と上京の町人たち	仁木宏氏 (大阪市立大学大学院教授)	40	34
H27. 11. 8	《上京プロジェクト事業》 仁丹町名表示板が見つめてきた、まち・上京の魅力	京都仁丹楽會	50	23
H27. 11. 8	《上京プロジェクト事業》 小学校建築からみる上京の歴史とまちの魅力	川島智生氏 (京都華頂大学教授)	50	25
H27. 11. 22	《上京プロジェクト事業》 京都・上京の近代化遺産と地域の関わり	岡田昌彰氏 (近畿大学教授)	40	23
H27. 12. 10	岡崎の文化的景観:歴史と水がつくる景観	石川祐一氏 (京都市文化市民局文化財保護課)	50	22
H28. 1. 22	近代京都のなりたち:新京極	大塚活美氏 (京都府立総合資料館)	60	31
H28. 2. 15	郊外の形成:衣笠園・下鴨	石田潤一郎氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	60	35
H28. 3. 29	京のまちづくり:近世から未来へ	高橋康夫氏 (花園大学教授・京都大学名誉教授)	60	32
			計	437

(イ) まちづくり実践塾

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上のため開催した。京都の特徴である学区によるまちづくりだけでなく、他都市のまちづくり組織や活動を紹介し、比較検討を行った。また、町内会・自治会連続セミナーとして、町内会や自治会の実務者を対象にワークショップを開催し、地域ごとの課題や取組の共有や実務者間の交流を促進した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H27. 4. 23	京都の学区の成り立ち	和崎光太郎氏 (京都市学校歴史博物館学芸員)	50	19
H27. 6. 4	京都の住民自治：学区に根付く地縁組織とその活動	石本幸良氏 (京・まち・ねっと代表)	30	25
H27. 6. 13	多様な主体が楽しみ、盛り上げるまちづくり：神楽坂の事例から学ぶ【共催】京・まち・ねっと	寺田弘氏 (NPO 法人粋なまちづくり倶楽部元理事長)	30	20
H27. 8. 5	京都の地域住民組織：戦前から戦後の展開	中井秀和氏 (京都市文化市民局くらし安全推進部)	50	34
H27. 9. 9	京都市都心部の地域課題：マンション住民と地域自治組織の関わり	田中志敬氏 (福井大学教育地域科学部講師)	50	20
H28. 2. 2	《町内会・自治会連続セミナー》京都の地域自治を知る	田中志敬氏 (福井大学教育地域科学部講師)	30	28
H28. 3. 4	《町内会・自治会連続セミナー》町内会・自治会の活動とは？課題とは？	田中志敬氏 (福井大学教育地域科学部講師) 谷口知弘氏 (同志社大学客員教授)	30	28
H28. 3. 17	《町内会・自治会連続セミナー》町内会・自治会の今後を展望する	田中志敬氏 (福井大学教育地域科学部講師) 谷口知弘氏 (同志社大学客員教授)	30	15
			計	189

(ウ) 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、京町家の維持、管理等に関する基本的な課題の解決のため開催した。概論、改修、暮らし方、不動産、総括をテーマとし年間カリキュラムを設定するとともに、通年受講生を募集し体系的な学びの場を提供した。

開催日	講座名	講師 (話し手)	定員	出席者
H27. 4. 22	京町家を次代に：京町家を活かして京の未来を開く	宗田好史氏 (京都府立大学大学院教授)	60	42
H27. 5. 27	京町家中世・近世・近代	大場修氏 (京都府立大学大学院教授)	60	33
H27. 6. 14	京町家に安心して暮らし続けるために：耐震性・防火性・断熱性を正しく理解する	田村佳英氏、武田眞理子氏 (NPO 法人関西木造住文化研究会 (KARTH) 防火・耐震研究チーム)	60	35
H27. 7. 26	プロに任せて安心！：京町家、改修工事の進め方 (セミナー後相談会を実施)	荒木勇氏 (株式会社アラキ工務店代表取締役、NPO 法人古家改修ネットワーク理事長)	60	41
H27. 8. 30	町家の維持管理と傷みの早期発見、庭と手入れと楽しみ方	木下尚平氏 (一般社団法人京町家作事組理事)、 木村孝雄氏 (一般社団法人京町家作事組)	40	32

H27. 9. 30	京町家と相続税	村井淳一氏（税理士・京都学園大学法学部教授）	60	31
H27. 10. 18	京町家の資産価値：不動産売買・賃貸借の事例から学ぶ	西村孝平氏（公益社団法人京都府宅地建物取引業協会、京町家専門相談員）	60	43
H27. 11. 7	京町家に住むまでと住んでみて：四季を楽しむ過ごし方	生川慶一郎氏とそこご家族（京町家居住者）	40	30
H27. 11. 21	《上京プロジェクト事業》 庭と共に住まう：町家の庭を知るにはココを見よう！ 【共催】町家をトーク運営委員会	仲隆裕氏（京都造形芸術大学教授）	40	28
H28. 2. 24	今すぐ始める、日々の町家の掃除術とメンテナンス手法	風月匠幹廣氏（認定 NPO 法人古材文化の会 伝統建築保存活用マネージャー会）	50	27
H28. 3. 21	近代京都のなかの京町家	大場修氏（京都府立大学大学院教授）	50	40
			計	382

※通年受講者（全 9 回 定員 10 名 賛助会員になることが要件）を募ったところ、多数の申込みがあり、先着 11 名を受け付けた。

(エ) 地域まちづくりワークショップ 《上京プロジェクト事業》

地域住民を対象に、まちづくりを始めるきっかけづくりや、まちづくりに関するより実践的な方法を学ぶことで地域活動の充実を図るため開催した。

平成 27 年度は、上京区の各学区の今後の地域活動の担い手の方々と、座学とまち歩きにより地域の資源と課題を共有し、解決策を探った。建物や袋路などをどのように整備し、活用するか、まちの魅力・良さを残しながら、さらにまちの安全性を向上させるために地域でどのようなことに取り組めるかを考えた。

【全 4 回】 会場：上京区役所及び上京区各学区

開催日	テーマ	出席者
H27. 11. 27 第 1 回	まちづくりって何だろう？	31
H27. 12. 17 第 2 回	わたしのまちはどんなまち？～自分のまちの再発見！～	30
H28. 1. 24 第 3 回	あなたはまちのカウンセラー～「魅力」と「課題」を探して、みんなで確認しよう～	25
H28. 2. 18 第 4 回	わたしのまちの暮らしづくり・まちづくり発表会～まちの資源を活かしながら考えるまちの将来～	29

(参加学区) 正親学区、桃菌学区、室町学区、春日学区、翔鸞学区、乾隆学区、待賢学区、成逸学区、中立学区 (9 学区)

イ 各種団体等との共催セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO 法人、学会、他都市の中間支援組織などとの協働により、セミナー等の事業を進めた。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H27. 6. 13	多様な主体が楽しみ、盛り上げるまちづくり：神楽坂の事例から学ぶ【再掲】 【共催】京・まち・ねっと	寺田弘氏（NPO 法人粋なまちづくり倶楽部元理事長）	30	20

H27. 10. 2～4	民間まちづくり実践セミナー 京都セミナー2015 【共催】政策研究大学院大学	大島芳彦氏 (株式会社ブルースタジオ専務取締役) 大島祥子氏 (一級建築士事務所スーク創生事務所代表) 久米良昭氏 (国立大学法人政策研究大学院大学教授) 高田光雄氏 (京都大学大学院工学研究科教授) 内藤英治氏 (一般社団法人日本メインストリート センター副理事長) 西山広志氏 (NO ARCHITECTS 共同主宰) 吉野智和氏 (NPO 法人エクスクラメーション・ スタイル代表)	—	40
H27. 11. 21	《上京プロジェクト事業》 庭と共に住まう：町家の 庭を知るにはココを見よ う！【再掲】 【共催】町家をトーク運営委 員会	仲隆裕氏 (京都造形芸術大学教授)	40	28
H28. 1. 23	京都建築専門学校市民講 座 シンポジウム「京都に住ま う。」 【共催】学校法人京都建築園 専門学校、平成の京町家コ ンシーム、京都市住宅供給公 社	高田光雄氏 (京都大学大学院工学研究科教授) 佐野春仁氏 (京都建築専門学校教務主任)、他	200	91
H28. 1. 29～31	民間まちづくり実践セミ ナー 京都セミナー2016 【共催】政策研究大学院大学	赤崎盛久氏 (あきや活用まちづくりセンター代表理事) 大島芳彦氏 (株式会社ブルースタジオ専務取締役) 大島祥子氏 (一級建築士事務所スーク創生事務所代表) 久米良昭氏 (国立大学法人政策研究大学院大学教授) 高田光雄氏 (京都大学大学院工学研究科教授) 内藤英治氏 (一般社団法人日本メインストリート センター副理事長) 西山広志氏 (NO ARCHITECTS 共同主宰) 吉野智和氏 (NPO 法人エクスクラメーション・ スタイル代表)	—	62

ウ 研究会等の開催

近代まちづくり史の編纂

学識者や若手研究者等による研究会や調査を実施し、主として20世紀以降の市街地形成の変遷と郊外住宅の変遷を取りまとめ、近代まちづくり史を編纂している。

本研究は、「平成27年度京都府立大学地域貢献型特別研究」及び、「立命館大学アート・リサーチセンター日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 2015年度 共同研究」の選定を受けた。

今後、地理情報システム (GIS) を活用し、近代の京都の市街地や建築活動等の変遷を即地的に把握し、今日の地域が形成されてきた要因を理解するとともに将来のまちづくりを展望する。

開催日	内容
H27. 7. 26 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・「近代京都における市街地の拡張過程に関する研究 —西陣および周辺地区を事例として—」 (昨年度成果報告：大場修氏 京都府立大学教授) ・「京都における戦前の宅地開発に関する研究」 (話題提供：大菅直氏 株式会社光影堂 代表取締役) ・「長谷川家京都市明細図と資料館所蔵京都市明細図の比較を通して」 (意見交換：赤石直美氏 立命館大学 准教授)

H27. 11. 30 第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「近代京都の市街地変容について -東九条周辺をケーススタディとして-」 (話題提供：田路貴浩氏 京都大学准教授 高橋宏行氏) ・「近代京都における市街地の拡張過程に関する研究」 (調査報告：大場修氏 京都府立大学教授 橋本歩美氏ほか) ・「WebGIS を用いた戦後京都の記憶のアーカイブとその課題」 (調査報告：赤石直美氏 立命館大学准教授)
H28. 2. 15 第 4 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「近代京都における市街地形成と土地区画整理事業に関する史的研究-京都市西部を事例に-」 (調査報告：京都府立大学大学院 橋本歩美氏) ・「近代京都の市街地南部における住宅地拡張に関する研究」 (調査報告：京都府立大学 小畑紗良氏) ・「近代京都における市街地拡張にともなう町家形成に関する史的研究」 (調査報告：京都府立大学大学院 葉狩由衣子氏) ・「『京都日出新聞』広告にみる戦前期京都における住宅地の売買動向」 (調査報告：京都府立大学 原田萌氏(大場修氏 代理発表)) ・「近代京都における都市拡張と土地所有に関する研究-京都駅南地区を事例として-」 (調査報告：京都大学大学院 高橋宏行氏)

< 参考 >

研究会委員 (順不同)
会長：大場修氏 (京都府立大学大学院教授) 顧問：三村浩史氏 (京都大学名誉教授) 委員：寺田敏紀 ((公財)京都市景観・まちづくりセンター専務理事) 福島幸宏氏 (京都府立図書館総務課) 矢野桂司氏 (立命館大学大学院教授)
拡大研究会委員 (順不同)
委員：高田光雄氏 (京都大学大学院教授) 中川理氏 (京都工芸繊維大学大学院教授) リムボン氏 (立命館大学教授)

エ 景観・まちづくりシンポジウム 《上京プロジェクト事業》

地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し、種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催した。

開催日 場 所	内 容	プログラム	出席者
H27. 11. 7 元西陣小学校体育館	テーマ：創造のまち・上京 上京区を事例に、地域の価値を生かす創造的な活動の意義を考え、今後のまちづくりを展望した。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体コーディネーター・話題提供： 宗田好史氏 (京都府立大学大学院教授) ・活動紹介： 飯高克昌氏 (特定非営利活動法人アニュアルギャラリー代表理事) 水野秀比古氏 (株式会社水野克比古写真事務所専務取締役) 水野成容氏 (京都リサーチパーク株式会社常務取締役・イノベーション本部担当) 細尾真生氏 (株式会社細尾代表取締役社長) ・パネルディスカッション 	78

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援

ア 景観・まちづくり相談・支援

当財団職員が、これから自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域や、過去に専門家派遣や活動助成を実施した実績があるなど、既に継続的なまちづくり活動等を行っている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実・発展につなげた。

・相談・支援件数 434 件（平成 26 年度実績 341 件）

相談項目	件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	391
マンション問題	8
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	10
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、景観協定、建築協定等）	133
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	7
まちづくりコーディネーター事業	356
その他	52
合計（※項目ごとの件数の累計）	957

イ 当財団職員が継続的に活動支援を行った地区 19 地区

（北区）柘野学区（上京区）成逸学区、仁和学区（左京区）松ヶ崎学区
（中京区）姉小路界限、先斗町（東山区）六原学区、古門前通元町、元吉町、栗田学区
（下京区）修徳学区、有隣学区、永松学区、開智学区（南区）久世工業団地（右京区）
仁和寺門前、嵐山地区（西京区）洛西ニュータウン（伏見区）新町三丁目

※下線は、平成 27 年度から新たに対応している地区を示す。

ウ 地域まちづくりワークショップの開催<上京区プロジェクト>【再掲】

内容：ワークショップ等で、各学区の地域活動の担い手の方々を対象に、座学とまち歩きにより地域の資源と課題を共有し、解決策を探った。（計 4 回開催）

〔学区：（上京区）正親学区、桃菌学区、室町学区、春日学区、翔鸞学区、乾隆学区、待賢学区、成逸学区、中立学区（計 9 学区）〕

エ 京都市地域景観まちづくりネットワークにオブザーバー参加

内容：京都市の景観政策課とともにオブザーバーとして参加し、地域景観づくり協議会認定の 7 地区の課題共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

〔（中京区）先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会、（東山区）西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会、（下京区）修徳景観づくり協議会、（西京区）桂坂景観づくり協議会〕

オ 密集市街地・細街路対策（防災まちづくり活動）の活動支援

内容：京都市のまち再生・創造推進室が進める密集市街地・細街路対策（防災まちづくり活動）に係る地区の活動支援を行った。

〔学区：（上京区）成逸学区、柏野学区、正親学区、仁和学区（東山区）六原学区〕

(2) まちづくり活動助成

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、活動費を助成した。

助成地区	助成対象事業
①中京区姉小路界限	地域景観づくり協議会の活動を地域住民、事業者、建築主等に周知するためのホームページのバージョンアップ
②中京区先斗町	地域の景観特性や魅力を発信し、景観まちづくり活動への参画を図るためのイベント及びワークショップの開催
③下京区永松学区	まちづくりビジョンを実現するための取組として策定した自主ルール及び地区計画を周知するパンフレットの作成

(3) まちづくり専門家派遣

ア 専門家派遣

地域課題に応じて登録専門家を地域に派遣して、活動への助言、地域の将来ビジョンづくり、ビジョンを踏まえたルールづくり、主として都市計画手法を活用した課題解決（地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定、空き家活用等）等の支援を行った。

地区	支援内容（支援年度）
①左京区松ヶ崎学区	安心感の持てるコミュニティの活性化、充実した町内会（自治会）組織づくりを目指し、地域ホームページ等を活用した学区内での情報の共有化等に対して助言及び指導を行った。（平成26年度～）
②東山区六原学区	六原まちづくり委員会空き家活用啓発部会の運営支援 ・空き家啓発パネル及び出前講座用の説明資料の作成に対して助言及び指導を行った。また平成27年度は、学区内の空き家活用の事例づくりへ向けた仕組みづくりや活動支援を行った。（平成25年度～）
③東山区弥栄学区元吉町	元吉町まちづくり部運営支援 ・近年地域が抱える景観、コミュニティ等に関する課題解決へ向け、初動期の地域活動に対する助言及び指導を行った。27年度からは、景観づくり協議会認定に向けた支援を行った。（平成26年度～）
④東山区古門前通元町地区	元町まちづくり協議会の運営支援 ・まちづくりを継続する組織体制の構築や住民と事業者の交流を促進する取組の開催及び自主ルールの策定を支援し、まちづくりビジョンの実現を図った。（平成27年5月～平成28年3月）
⑤下京区修徳学区	修徳景観づくり相談会への助言 ・地域景観づくり協議会制度に基づき個別の事業者と地域組織が行う意見交換について助言した。 修徳まちづくり委員会及び修徳自主防災会への助言 ・防災対策と避難所マニュアル及び空き家対策を検討するワークショップの企画・運営について助言した。（平成26年度～）
⑥下京区永松学区	下木屋町まちづくり協議会の運営支援 ・風俗営業等を規制する地区計画地元案の作成及び地権者の合意形成を支援し、11月に地区計画が策定された。加えて、まちづくりビジョンの実現に向けて、まちづくりを継続する組織体制の構築及び自主ルールの作成について支援した。（平成27年5月～平成28年3月）

⑦南区久世工業団地	久世工業団地協同組合への助言 ・工業団地の操業環境の保全に向けて、課題整理を行い、地区計画や建築協定等のルール策定について助言した。(平成27年度～)
⑧右京区仁和寺門前	地域景観づくり協議会の設立に向けて、活動計画の策定及び合意形成を支援した。(平成27年12月～)
⑨伏見区新町三丁目	新町三丁目まちづくり検討会議運営支援 ・地区計画等のルール策定に向けて、地域住民の意向確認の進め方について助言及び指導を行った。(平成26年度～)

イ まちづくり専門家交流会（景観・まちづくりサロン）

まちづくりに携わる関係者の交流会及び有識者を講師として招き、新しい知見やアイデアを獲得するため開催した。京都の資源・価値を共有する人々が交流することにより、互いに刺激を受け、新しい価値を創造する力やアイデアを獲得することで、京都の景観まちづくりに貢献することを目指した。

サロンメンバーからの話題提供による交流サロンや、講師を招いての研究サロンを開催した。(月1回程度開催)

開催日	テーマ（話題提供者）
H27.9.9	コアメンバー会議 各自活動紹介と意見交換
H27.10.14	第1回まちづくり交流サロン 京都観光プロデュースの秘訣（藤田功博氏 株式会社のぞみ代表取締役社長）
H27.11.11	第2回まちづくり交流サロン 過去にかこまれて（細尾直久氏 hosoo/architecture）
H27.12.8	第3回まちづくり交流サロン 「オープン・イノベーション」の可能性（宮内俊樹氏 ヤフー株式会社 スマートデバイス推進本部大阪開発室本部長）
H28.2.10	第4回まちづくり交流サロン 地域ブランディングへの挑戦（八木隆裕氏 株式会社開化堂取締役）
H28.3.9	第5回まちづくり交流サロン 多様性×文化資産×コーディネート（北林功氏 COS KYOTO 株式会社 代表取締役）

<参考>

コアメンバー（順不同）
田村篤史氏（京都移住計画、株式会社 tunagumu）
西村孝平氏（株式会社八清）
細尾真生氏（株式会社細尾）
前野芳子氏（前野公認会計士・税理士事務所）
西谷剛毅氏（京都リサーチパーク株式会社）
水野成容氏（京都リサーチパーク株式会社）
山本一馬氏（街角企画株式会社）
吉川哲雄氏（西陣学区）
吉田光一氏（株式会社フラットエージェンシー）
リムボン氏（立命館大学）
<世話人>
上原智子（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
寺田敏紀（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
大島祥子（スーク創生事務所）
森川宏剛（NPO 法人京都景観フォーラム）

ウ 専門家セミナー（全5回開催）

地域の防災まちづくりや景観まちづくりを支援する専門家の育成を図るため、必要な知識（概論、事例、制度など）を総合的に学ぶとともに、意見交換を通じて相互のスキルアップを図った。第1回～第4回は、今秋に実施する地域まちづくりワークショップの運営を担う登録専門家（下表7名）を対象に開催した。

開催日	テーマ（話題提供者）
H27.9.7 第1回	当財団が目指す地域まちづくりについて（(公財)京都市景観・まちづくりセンター） 京都市における暮らしと文化の継承の取組について（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
H27.9.28 第2回	京都市の地域まちづくり取組事例紹介（吉川哲雄氏 西陣地域住民福祉協議会顧問） 上京区に関する基本情報の提供（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
H27.10.6 第3回	京都市の防災まちづくりにおける取組方針（京都市都市計画局まち再生・創造推進室） 京都市の防災まちづくり取組事例紹介（藤原英一氏 株式会社サンワコン）
H27.10.26 第4回	京都市の空き家対策の取組方針（京都市都市計画局まち再生・創造推進室） 空き家に関する地域の取組事例紹介（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
H27.11.19 第5回	地域まちづくりワークショップの進め方について

<参考>

参加専門家
朝倉眞一氏（京都市まちづくりアドバイザー）
田中正人氏（株式会社都市調査計画事務所）
藤原英一氏（株式会社サンワコン）
松原永季氏（有限会社スタヂオ・カタリスト）
森川宏剛氏（NPO法人京都景観フォーラム）
山本一馬氏（街角企画株式会社）
山内徹郎氏（株式会社山内徹郎都市計画研究室）

(4) 防災まちづくり専門家派遣業務（京都市受託事業）

京都市では「歴史都市京都における密集市街地対策等の取組方針」に基づき、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」（以下「優先地区」）において、地域と行政が一体となった防災まちづくりが進められている。平成27年度は、優先地区における、路地・町単位の地域防災まちづくり整備計画の策定へ向けた支援や、優先地区以外の密集市街地（学区単位）における地域防災まちづくり計画の作成支援として、（以下の3地区において）専門家派遣を行った。

地区	支援内容
①上京区成逸学区	成逸防災まちづくり協議会の運営支援 「路地・まち防災まちづくり計画（学区単位）」の策定に向けて、まちづくりニュースの発行、アンケート調査、まちあるき等を支援し、課題の抽出と地域住民への啓発を行っている。
②上京区正親学区 （東西俵屋本町地区）	京都市から受託した「京都市防災まちづくり専門家派遣業務」として、「路地・まち防災まちづくり整備計画（路地・町単位）」の策定に向けて専門家を派遣した。
③東山区六原学区 （五条橋東四丁目周辺地区）	京都市から受託した「京都市防災まちづくり専門家派遣業務」として、「路地・まち防災まちづくり整備計画（路地・町単位）」の策定に向けて専門家を派遣した。

④東山区六原学区 (薬師小路地区)	路地・まち防災まちづくり計画の実現に向けて、路地・町単位の防災まちづくり整備計画の策定に向けて合意形成を支援した。(最終的に地権者1名の反対により整備計画の作成には至らなかった。)
----------------------	--

(5) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施した。

(ア) 一般相談 420件 (平成26年度実績 490件)

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

(イ) 専門相談 44件 (平成26年度実績 45件)

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。

(ウ) 出張による相談、啓発

景観重要建造物等の候補に値すると判断した京町家に対し、建物調査報告書を作成したほか、京町家なんでも相談、京町家まちづくりファンド等の京町家関連事業を通じて、景観重要建造物等、公的指定も見据えた支援を推進した。

【相談項目内訳】

相談項目	一般相談	専門相談	合計件数
改修に関するもの	144	33	177
活用に関するもの	87	13	100
賃借・購入希望に関するもの	45	1	46
耐震、防火に関するもの	21	5	26
賃貸・売買契約に関するもの	28	1	29
相隣問題	12	2	14
相続に関するもの	10	1	11
資金、公的な支援制度	90	7	97
京町家まちづくりファンド	63	1	64
京町家カルテ	47	1	48
海外連携情報発信事業	3	0	3
往訪事業(建物調査報告書関連)	0	0	0
その他(マスコミ、視察、協力依頼、情報提供など)	55	3	58
合計件数	605	68	673

イ 京町家データベース

平成20、21年度京町家まちづくり調査によって調査した約48,000件の京町家等を元にID管理された案件をGIS(地理情報システム)上で地理的に管理する。

個々の案件について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書、京町家等継承ネット等に関する相談・対応履歴を入力し、年度毎、案件毎に一元的に管理する京町家データベースを運営した。また、上京プロジェクトでの各種事業実施に先立ち、上京区の大型町家、公的指定つながる可能性のある京町家を京町家データベースで抽出し、相談会のご案内等資料配布及び滅失や改変の有無等の調査を行った。

ウ 京町家専門講座

建築、不動産業等に携わる専門家を対象に、京町家に関する概論、技術、流通、制度等を学ぶための専門講座を開催した。

なお、本講座は、京町家専門相談員研修会を兼ねて実施した。

開催日	講座名	講師	出席者
H27. 8. 7 第1回	京町家継承のために、相続のために気をつけること	三方正行氏（司法書士法人みかた代表 一般社団法人相続相談センター）	37
H27. 8. 27 第2回	京町家の改修と再生（外観・空間改修）	栗山裕子氏（Win 建築設計事務所主宰 NPO 法人古材文化の会副会長）	43
H27. 11. 26 第3回	京町家現場見学会 ー京町家の旅館業許可ー	佐藤 悦子 氏（株式会社正庵）、 志村 公夫 氏（一級建築士事務所志村建 築設計事務所代表）	7
H28. 1. 30 第4回	京町家改修現場見学会 ー移築京町家の改修ー	末川協氏（末川協建築設計事務所） 辻勇治氏（辻工務店）	26
H28. 3. 3 第5回	京町家の改修における資金調達について	吉田光一氏（公益社団法人京都府宅地建 物取引業協会）	19
			132

エ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成26年11月21日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都大学大学院教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組んでいる。

平成27年度は京町家等の継承に関する普及・啓発活動、会員向けの教育研修、支援システムの検討や開発を実施するとともに、京都市の空き家対策や耐震化に関する支援事業等との連携を図った。

- ・ 国土交通省補助事業「多世代交流型住宅ストック活用推進事業」に申請し、4,633千円の助成が採択された。京町家等継承ネットにおける普及・啓発活動、相談会の開催、会員研修、支援システムの検討等が補助対象となった。11月に京町家・空き家相談会、京町家に関するセミナー、見学会等を開催した。また、大型町家継承モデルプロジェクトとして7軒の京町家等を対象に、具体的な活用提案を実施した。
- ・ 国土交通省支援事業「地方都市の不動産ファイナンスの環境整備のための協議会設置」の応募申請が受理された。京町家等継承ネットのモデルプロジェクトの一つ「大型町家継承モデルプロジェクト」を対象に専門家派遣等の支援を受けた。

(ア) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
H27. 4. 14	京町家等継承ネット 会員による意見交換会を開催 ・今年度事業について	34
H27. 7. 2	京町家等継承ネット第2回全体会議 ・前年度決算、事業計画等の承認 ・国交省補助事業・委託事業実施の承認	43

(イ) 普及・啓発の取組《上京プロジェクト事業》

a 京町家・まちづくり相談室の開設／京町家等継承ネット相談窓口

当財団スタッフが常駐し、まちづくり相談、京町家等の相談に応じるとともに、まちづくり、町並み、京町家などに関心のある市民が気軽に立ち寄ることができる場を提供した。

(a)実施日時 平成27年11月7日(土)～12月6日(日)

毎週木・金・土曜日 9時30分～17時 ※行事により他の曜日も開設

(b)実施場所 元西陣小学校

(c)相談件数 71件(相談会及びセミナー後の相談も含む)

※相談会等以外でのサテライトオフィスでの相談:16件(京町家の改修、活用等について)

b 京町家・空き家の相談会・連続セミナー

京町家等継承ネット主催の「京町家・空き家相談会」を開催し、各種専門家が、京町家等の相続、改修、維持管理、活用、融資等、様々な相談を受け付けた。

(a)京町家・空き家相談会(元西陣小学校)

開催日	専門相談件数 計23件			一般相談件数 計14件	相談会から派生した 往訪専門相談 11月～1月
	総件数	上京区	空き家	総件数	総件数
H27.11.12	6件	3件	2件	4件	11件 (うち上京区9件)
H27.11.14	8件	5件	2件	5件	
H27.11.28	9件	6件	5件	5件	

※上記のうち景観重要建造物2件、景観重要建造物候補に値する案件5件程度

※「京町家・空き家所有者のための連続セミナー」(H27.11.14、28)の際に受け付けた相談件数18件

※相談会開催日以外に京町家・まちづくり相談室で受け付けた相談件数16件(再掲)

※主な相談内容

- ・修繕、改修、活用が大多数
- ・活用、相続、資金、事業継承等複合的な相談も多い
- ・景観重要建造物等への指定提案や大型町家の継承に関するプロジェクト化が想定される案件も含まれる

→相談会後も引き続き、専門相談等でフォローアップを行った。

<相談員 延べ53名参加>

(※重複団体推薦2名)

推薦団体名	相談員数
京都府建築工業協同組合	7
一般社団法人 京都府建築士会	6
一般社団法人 京都府建築士事務所協会	1
公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会	3
公益社団法人 全日本不動産協会 京都府本部	1
一般社団法人 京都府不動産コンサルティング協会	3
京町家居住支援者会議	5
都市居住推進研究会	1
京都司法書士会	2
公益社団法人 京都府不動産鑑定士協会	6
京都銀行	4
京都信用金庫	1
京都中央信用金庫	2
税理士 (※有志による参加)	3

(b) 京町家・空き家所有者のための連続セミナー

京町家等の相続や活用、改修等について司法書士、不動産事業者、大工の講師から説明を行った。

開催日	講座名	講師	参加人数	セミナー講師への個別相談件数
H27. 11. 14 第1回	備えて安心 相続の基本 －相続と遺言－	三方正行氏 (司法書士、一般社団法人相続相談センター)	22	4
H27. 11. 14 第2回	京町家・空き家の賢い活かし方 －活用事例に学ぶ－	吉田光一氏 (一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会)	24	3
H27. 11. 28 第3回	司法書士さんに聞く －京町家を家族に残すためのノウハウ－	三方正行氏 (司法書士、一般社団法人相続相談センター)	21	6
H27. 11. 28 第4回	大工さんに聞く －京町家の修繕・改修のポイント－	狩野文博氏 (京都府建築工業協同組合)	26	5
			93	18

(ウ) 京町家見学会、セミナーの開催

魅力ある上京の京町家を見て、聞いて、触れる機会として、京町家まちづくりファンドにより助成を行った京町家や京町家の所有者・居住者、専門家の協力の下、京町家見学会やセミナーを開催した。

開催日	内容	会場	参加人数
H27. 11. 21	京町家再生セミナー【再掲】 「庭と共に住まう：町家の庭を知るにはココを見よう！」 講師 仲 隆裕 氏 (京都造形芸術大学教授) 【共催】町家をトーク運営委員会	五辻庵 (上京区)	28
H27. 11. 21	京町家見学会 ※設計担当の三木 佑美 氏 (一級建築士事務所アトリエ RYO) の説明付き		76
H27. 11. 21	京町家見学会「西陣 路地奥の京町家の改修事例」	蓮庵 (上京区)	50
H27. 11. 26	京町家セミナー「景観重要建造物の京町家を宿泊施設へ」 京町家専門講座「京町家の旅館業許可」【再掲】 講師 佐藤 悦子 氏 (株式会社正庵)、 志村 公夫 氏 (一級建築士事務所志村建築設計事務所代表)	正庵 (上京区)	セミナー 22 専門講座 7
H27. 11. 26	京町家見学会		56
			239

(エ) 上京オープンウィーク 2015 (期間：平成 27 年 11 月 15 日～22 日)

上京区を拠点にまちづくり活動や京町家で活動をされている住民、団体、事業者、専門家等の情報交換の場をつくり、人々が出会うことにより、さらなる上京区の魅力発信や活力の創出へ向けたネットワークの形成を目指した。参加団体、個人、事業者がオープンハウス、展示、活動

PR 活動などを各所で実施した。

a オープニングイベント「人をつなぐ場」

(a)開催日 平成 27 年 11 月 15 日 (日)

(b)会 場 上京区役所

(c)内 容 基調講演 KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 創設者・代表 仲西 祐介 氏
ナビゲーター 京都光華女子大学准教授 乾 明紀 氏

参加者の活動に関するプレゼンテーション、交流会

(d)プレゼンテーション出演者 (敬称略・順不同)

堀部知篤 (Impact Hub Kyoto)、草野良輔 (NPO 法人 場とつながりラボ home's vi)、浅原孝 (山中油店)、井上和子 (コロコロアーキテクト)、竹之下惟基 (株式会社基地計画)、嶋本愛弓 (都ライト実行委員会)、柳沢マリオ氏 (バザールカフェ)、かとうゆみ (NPO 法人子どもアート)、藤田始史 (デマチクラブ)、藤原奈那 (株式会社アーキネット京都)、さのはるひと (京都建築専門学校よしやまち町家研究室)、佐々木英人 (「ごのみ」りんどう屋 ごのみプロジェクト)、浅井政嗣 (株式会社つむぎや)、吉村奈央 (ママライト京都)、Barna Gergely (domanoie)、まちくさ博士 (まちくさ研究所)、でんがみ (イラストレーター)、岡元麻有 (Art Gallery & Rental Space be 京都)、宮嶋千紘 (Design Week Kyoto 実行委員会)、横山広充 (特定非営利活動法人芸術活動推進プランユノー)、井上信行 (特定非営利活動法人京町家・風の会)、加藤義裕 (着物カーニバル実行委員広報担当兼きもの文化祭実行委員長)、志村公夫 (京町家居住支援者会議)、西垣肇也樹 (京都銭湯芸術祭実行委員会)、西馬晋也 (De まち)、大関はるか (Social Kitchen)、森島善則 (特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery)、計 27 組

(e)共 催 上京クリエイティブネットワーク準備委員会

(f)参加者 130 名

b ワークショップ「アートを育む場」、「未来をつむぐ場」

(a)開催日 平成 27 年 11 月 21 日 (土)

(b)会 場 元西陣小学校

(c)参加者 68 名

オ 支援システムの開発、支援専門家の充実に係る取組

(ア) 大型町家継承モデルプロジェクト

景観資源として重要であるが、相続や市場での流通による継承が困難な大型の京町家等について、大型町家等継承モデルプロジェクトを実施することによる支援システムの開発を行った。

開催日	内 容	検討会議出席団体
H27. 7. 25	第 1 回検討会議・見学会	一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会
H27. 8. 24	第 2 回検討会議	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会京都府支部 都市居住推進研究会
H27. 9. 14	第 3 回検討会議	京町家居住支援者会議
H27. 10. 27	第 4 回検討会議	国土交通省 (第 2 回のみ) 京都市
H27. 12. 7	第 5 回検討会議	当センター他

※ 大型町家の相談案件 7 軒について、所有者の意向を踏まえ、案件ごとに専門家によるプロジェクトチームを結成し、活用提案、事業マッチングを試みた。このモデルプロジェクトを通じて、①案件に関する個人情報の環境整備、②大型町家に対して活用ニーズのある事業業態・業種の属

性の把握、③マッチングシステム の開発を行った。

(イ) 専門家の充実

京町家等継承ネットの会員向け研修会等の実施

開催日	内容	会場
H27. 9. 11	<p>京都銀行 京町家セミナー 「京町家に息づく知恵ー大工棟梁に聞く修繕・改修のポイントー」</p> <p>講師：木村忠紀（京都府建築協同工業組合理事長） 上原智子（京都市景観・まちづくりセンター事務局次長）</p> <p>京都銀行の顧客を対象に京町家に関する概論と修繕・改修について説明</p>	京都銀行 本店東館
H27. 11. 6	<p>京町家・空き家相談会 相談員研修会</p> <p>相談員を対象に、相談カルテ（個人情報）の取扱い、相談事例の紹介、各団体の相談窓口等について情報提供</p>	京都市景観・ まちづくりセ ンター
H28. 2. 3	<p>京都銀行 京町家セミナー「京町家の再生と有効活用」</p> <p>講師：西村孝平（都市居住推進研究会会長代行、㈱八清代表取締役） 上原智子（京都市景観・まちづくりセンター事務局次長）</p> <p>京都銀行の行員（住宅ローン、営業等担当）を対象に、京町家の利活用を先駆的に事業展開している不動産事業者から、京町家の基本やビジネスモデルなどを紹介</p>	京都銀行 本店東館
H28. 3. 14	<p>京都府宅地建物取引業協会 京町家継承・活用研修会 「京都の老舗 山中油店の町家再生事例を通して」</p> <p>講師：浅原孝氏（㈱山中油店常務取締役） 「京町家の活用事例(店舗、宿泊施設、賃貸住宅など）」 田原利晃氏（京都府建築工業協同組合理事） 「京町家を健全で快適に使い続けるためのポイント」 辻本尚子氏（(公社)京都府不動産鑑定士協会副会長） 「京町家の可能性とその価値」</p>	京都府宅建 会館 3階 「研修センター」
H28. 3. 25	<p>大型町家継承モデルプロジェクト・会員研修会 「京町家の継承・活用希望案件の現地オープンハウス及び提案ワークショップ」</p> <p>アドバイザー・ファシリテーター： 岡本秀巳氏（全国不動産コンサルティング協会副会長） 吉田光一氏（京都府不動産コンサルティング協会副理事長） 西村孝平氏（都市居住推進研究会会長代行）</p> <p>京町家等継承ネットに寄せられた相談案件のうち、個別に継承・活用のコンサルティングを希望されている案件について見学し、活用方法等を議論</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京町家 【和える、柴田邸】 ・京都市景観・ まちづくり センター

3 各種団体等との交流及び協働活動

(1) 京町家アーティスト・イン・レジデンス《上京プロジェクト事業》

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受入れ、京町家の活用促進及び所有者や地域との交流を支援するとともに、地域まちづくりの活性化を図った。

平成 27 年度は 2 組のアーティストが滞在し、アムステルダムと京都の国際交流と京都芸術センターをはじめとするアーティスト・イン・レジデンスを運営する他団体とのネットワークの充実を図るとともに、ホームページを整備し、国内外へ事業の認知度を高める活動を展開した。

共催：日本カルチャーセンター・アムステルダム、NPO 法人 ANEWAL Gallery

後援：オランダ王国大使館、在大阪・神戸オランダ総領事館

滞在期間	滞在家	滞在拠点
H27. 9. 24～ H27. 12. 16	ジッケ・ファン・ローン (Jikke van Loon) 氏： ビジュアルアート イテケ&チツケ・ヘムケス (Iteke and Tjitske Hemkes) 氏：イラスト、パフォーマンス、デザイン	米田邸 アニュアルギャラリー (今出川堀川エリア)

・主な活動スケジュール

開催日	内容
H27. 9. 25	京町家の滞在に関するオリエンテーション
H27. 10. 4	オープニングレセプション
H27. 12. 4-6	成果発表展

(2) ワールド・モニュメント財団 (WMF) との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図った。

平成 27 年度は、京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた釜座町町家（半期分）と旧村西家住宅（第 2 期分）の活用に協力を行った。

更に第 3 期の取組として、祇園祭・大船鉦の祭事の拠点となる四条町大船鉦会所（四条町の町会所）の修復について、公益財団法人四条町大船鉦保存会及び特定非営利活動法人京町家再生研究会と協働し、ワールド・モニュメント財団（米国、World Monuments Fund：WMF 以下「WMF」という。）に対し、当財団を窓口として助成・支援の打診と協議を進め、WMF から、四条町大船鉦会所の修復への助成・支援*が決定した。平成 28 年 1 月、助成・支援に関する契約をワールド・モニュメント財団と当財団の間で助成・支援に関する契約を締結した。

* WMF の助成・支援は、フリーマン財団（米国）の協力を得て実施

ア 第 3 期京町家再生プロジェクトの対象となる京町家

四条町大船鉦会所（京都市下京区四条町 355）

所有者：公益財団法人四条町大船鉦保存会

* 平成 28 年 3 月 31 日、景観重要建造物に指定された。

イ プロジェクトの内容

a 四条町大船鉾会所の修復と活用

* 平成 28 年 2 月～平成 29 年 6 月にかけて修復工事を行う。

b 京町家の保全・再生に関する普及・啓発プログラム

ウ 助成額

総額 282,150 ドル（約 3,329 万円）



4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、更には地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営した。併せて、ファンドの普及啓発とともに寄附拡大につなげるため以下の普及啓発事業を実施した。

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

開催日	内容
H27. 10. 2	改修助成事業申請案件視察会
H27. 10. 13	平成 27 年度京町家まちづくりファンド改修助成事業の選定について
H28. 3. 24	平成 28 年度京町家まちづくりファンド改修助成事業について

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

(ア) ファンド・サロン（助成を受けた方の交流会）の開催

開催日：①平成 27 年 6 月 25 日（木）

②平成 27 年 6 月 27 日（土）

会場：①b e 京都（H18 選定、上京区）

②三原邸（H18 選定、上京区）

内容：事業報告、活用事例の紹介、自己紹介、グループごとの座談会

参加者：延べ 30 名

(イ) 京町家 東京シンポジウム「あなたと生きる京町家」の開催

（京あるき in 東京 2016 京都創生連続講座 in 東京 関連企画）

開催日：平成 28 年 2 月 17 日（水）

会場：野村コンファレンスプラザ日本橋

内容：トークイベント、パネルディスカッション

京町家を取り巻く現状、京町家を支える仕組、京町家を守ることの意義、京町家まちづくりファンドの取組を紹介

登壇者：杉野 善彦 氏（株式会社井筒八ッ橋本舗 代表取締役社長）

大場 修 氏（京都府立大学大学院 教授）

細尾 真生 氏（株式会社細尾 代表取締役社長）

山中 琢人 氏（株式会社フージャースコーポレーション 京都支店 支店長）

若村 亮 氏（株式会社らくたび 代表取締役）

参加者：342 名

協賛：(株) LIXIL グループ、(株) フージャースコーポレーション

(ウ) 京町家まちづくりファンド感謝祭「あなたが支える京町家」の開催

開催日：平成 28 年 3 月 19 日（土）

会場：新島会館本館 2 階 大ホール

内容：事業報告会、寄附者表彰式、トークイベント、ミニコンサート

登壇者：佐々木 晃 氏（佐々木酒造株式会社 代表取締役）

大場 修 氏（京町家まちづくりファンド委員会 委員長）、他

参加者：115名

備考：4件の新規寄附付き商品の申出を受けた。

(2) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業

ア 京町家カルテの作成

京町家の所有者が、所有する京町家の価値を理解し、京町家を次世代に適切に継承していく手がかりとするために、京町家の価値を「基礎情報」「文化情報」「建物情報」「間取図」の構成でまとめた「京町家カルテ」を作成した。

京町家カルテの内容の審査及び適正な運用にあたっては、理事長の諮問機関として、学識者及び実務者で構成する京町家カルテ委員会を開催した。

・京町家カルテ発行件数 70件

イ 京町家カルテ委員会

京町家カルテの内容を審査し、適正に運用することを目的として、理事長の諮問機関として、学識者及び実務者で構成する京町家カルテ委員会を毎月1回開催した。

(3) 歴史的建築物の保存及び活用に係る普及啓発及び調査（京都市受託事業）

「京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例（以下、「本条例」という。）」の利用促進を図るため、所有者等に対する本条例の普及啓発及び補助事業等の活用支援制度の普及啓発を行った。

ア 設計者等を対象とした京町家の保存活用方法を検討するワークショップ

開催日：第1回 平成27年9月8日 参加者25名

第2回 平成27年9月29日 参加者26名

主に設計者等に対して、京町家の保存及び活用における課題及び解決方法、具体的なプランを検討するワークショップを実施し、活用イメージの理解を深めることにより、本条例の利用促進を図った。

イ 調査建築物への個別訪問による調査

調査建築物への個別訪問を行い、所有者に本条例や補助制度等の説明をするとともに、建築物及び敷地の状況並びに所有者の活用意向等の調査を行った（25軒）。

5 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大学	学部等	人数	受入期間
京都府立大学	生命環境学部	1	H27. 8. 19-H27. 9. 7
立命館大学	大学院政策科学研究科	1	H27. 11. 13-H27. 12. 28

(2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受け入れ、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	団体名	人数	内容
H27. 4. 2	韓国国土研究院	3	景観・まちづくりセンターについて
H27. 4. 22	静岡県浜松市立高台中学校	3	京町家について
H27. 5. 25	京都看護大学	10	地域まちづくりについて
H27. 5. 27	韓国MBC（取材）	-	景観・まちづくりセンターについて
H27. 6. 3	上海市静安区人民政府議員	6	景観・まちづくりセンターについて
H27. 6. 28	丹後町婦人会	20	京町家について、施設見学
H27. 6. 30	兵庫のまちづくりを考える会	4	京都における京町家の保全再生について
H27. 7. 3	京都産業大学法学部 教授	1	ゼミ生の視察についての事前ヒアリング
H27. 7. 17	九州大学	4	京町家の活用について
H27. 7. 14	e oケーブル（取材）	-	京町家まちづくりファンドについて
H27. 8. 21	横浜市立大学国際総合科学部	1	京町家について
H27. 8. 25	田園調布学園中等部	4	地域まちづくりについて
H27. 8. 25	イギリスBBC（取材）	-	京町家まちづくりファンドについて
H27. 8. 27	岐阜市岩野田中学校	3	京都の景観政策、地域の景観まちづくり
H27. 9. 1	静岡大学教育学部附属静岡中学校	1	京町家について
H27. 9. 2	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	2	京町家の活用について
H27. 9. 3	京都大学	1	町家の再生と保存について
H27. 9. 8	韓国水原市職員	22	景観・まちづくりセンターについて
H27. 9. 30	京都産業大学法学部	8	京町家事業について
H27. 10. 2	政策大学院大学	40	京都における京町家の保全再生について
H27. 10. 22	武蔵野市建設委員会議員	8	地域まちづくりについて
H27. 10. 26	韓国水原市政研究院	3	京町家事業について
H27. 10. 28	韓国城南市市会議員	14	景観まちづくり、現地視察（姉小路）

H27. 11. 5	韓国谷城郡開発委員会	24	景観・まちづくりセンターについて
H27. 11. 19	皇學館大学	1	京町家を活用した京都市の景観まちづくりについて
H27. 11. 19	岡山県立岡山操山中学校	4	京都の景観政策や、そのための町家のあるまち並みの活かし方
H27. 11. 20	ディポネゴロ大学	7	京都における景観まちづくりについて
H27. 11. 20	韓国春川市文化財団	24	京都における景観まちづくりについて
H27. 11. 24	一水会若手研修会(住友グループ若手技術者研修会)	30	京のまちかど説明
H27. 12. 4	慶尚大学校・ソウル市役所他	7	当財団の事業概要及び当財団における京町家の保全、再生、活用等取組みについて
H27. 12. 16	(タイ) タマサート大学・立命館大学共同ワークショップ	25	京都市の景観政策・まちづくりについて
H28. 1. 22	京都府大 留学生 王 氏 (上海)	1	京都市の町家の保全保護について
H28. 2. 3	堺市堺区区民評議会委員	11	町家の保全・活用について
H28. 2. 4	静岡大学教育学部付属静岡中学校	5	京都の今昔の景観を学ぶ
H28. 2. 18	ゲルフト工大 Spoormans 氏	1	京町家の再生について
H28. 3. 1	韓国慶尚南道河東	24	まちづくりセンターの事業について
H28. 3. 9	上越市立柿崎中学校	45	京のまちかど説明
H28. 3. 9	上越市立城北中学校	30	京町家の保全・再生について
H28. 3. 11	柏崎市立第二中学校	3	京都の景観政策、景観保全
		400	

(3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	内 容
H27. 4. 17	立命館大学	京都のまちづくりと支援について、韓国慶尚大学校及び立命館大学政策科学部学生への講義
H27. 10. 2~10. 4	政策大学院大学	第1回 民間まちづくり実践セミナー 京都セミナー2015 「京町家の継承について」
H28. 1. 29~1. 31	政策大学院大学	第2回 民間まちづくり実践セミナー 京都セミナー2016 実践編 「京町家の継承について」
H28. 2. 22	京都経済同友会	都市問題研究委員会 第2回委員会 「京町家の現状と課題—京町家の継承の取組」

(4) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H27. 7. 18	基礎理論 (1)	堀繁氏（東京大学大学院教授）	33
2	H27. 8. 22	基礎理論 (2)	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	25
3	H27. 9. 26	京都のまちの形成と景観史	高橋康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授）、中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	23
4	H27. 10. 17	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（京都大学大学院特定准教授）、篠原修氏（東京大学名誉教授、GS デザイン会議代表）	27
5	H27. 11. 14	京の生活文化	矢ヶ崎善太郎氏（京都工芸繊維大学准教授）、谷晃氏（野村美術館館長）、笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	20
6	H27. 12. 19	建築とランドスケープ	江川直樹氏（関西大学教授）、佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授）	22
7	H28. 1. 16	景観政策と法律	飯田昭氏（弁護士）、石田光廣氏（司法書士）	21
8	H28. 2. 20	景観まちづくり・修了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	29

・実践講座（全7回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H27. 6. 20	オリエンテーリング		14
2	H27. 7. 19	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	13
3	H27. 8. 8	色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	13
4	H27. 9. 12	対話型ファシリテーター講座	中田豊一氏（ソムニード、参加型開発研究所）	14
	H27. 9. 25	フォローアップ講座		10
5	H27. 10. 24	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（京都大学大学院教授）	11
6	H27. 11. 21	発表・グループ提案		8
7	H28. 2. 20	実践レポート発表・修了式		11

(5) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを实践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催した。

平成27年度は、第7期育成講座（平成27年1月～7月、受講者34名、修了者20名、補講修了者8名）及び第3期上級講座（平成26年9月～平成27年8月、受講者5名、修了者2名）を実施し、第4期上級講座（平成27年10月～平成28年8月、受講者6名）を開始した。

・育成講座（第7期）

回	開催日	内 容	講 師
1	H27. 1. 17	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏 (NPO 法人古材文化の会、関西大学名誉教授) 寺田敏紀((公財)京都市景観・まちづくりセンター)
2	H27. 1. 31	民家建築	中川等氏 (大阪産業大学准教授)
		文化財保護法	武内正和氏 (文化庁)
		庭園の様式	仲隆裕氏 (京都造形芸術大学教授)
3	H27. 2. 14	文化財建築物の保存・活用	杉本歌子氏 ((公財)奈良屋記念杉本家保存会)
		見学	秦家住宅、杉本家住宅
4	H27. 2. 28	住宅建築	日向進氏 (NPO 法人古材文化の会)
		近代洋風建築	石田潤一郎氏 (京都市工芸繊維大学教授)
		京都の文化財	石川祐一氏 (京都市文化市民局文化財保護課)
5	H27. 3. 14	演習 1 指定文化財修理の現場見学	京都府文化財保護課
6	H27. 3. 28	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏 (弁護士)
		保存・活用のマネジメント/再生 設計	藤岡龍介氏 (建築家)
		保存・活用のマネジメント/活用 計画	宗田好史氏 (京都府立大学大学院教授)
7	H27. 4. 11	寺社建築	菅澤茂氏 (工学院大学 客員研究員)
		歴史的建造物の技法	寺本光男氏 (瓦葺職)、浅原雄三氏 (左官職)
		歴史的建造物の調査	中川等氏 (大阪産業大学准教授)
8	H27. 4. 25	演習 2 登録文化財調査	石川祐一氏 (京都市文化市民局文化財保護課)、 中川等氏 (大阪産業大学准教授)、中村則正氏、 中井玲子氏、永松尚氏、城市智幸氏 (建築家)
9	H27. 5. 9	歴史的建造物と耐震補強	井上年和氏 (建築研究協会)
		歴史的建造物の再生設計/構造設計 演習 2 の中間報告	竹内優二氏、奥田辰雄氏 (構造設計家)
		講座終了レポートの中間報告	
10	H27. 5. 23	歴史的建造物と防災対策	益田兼房氏 (国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際 国際学術委員会)
		歴史的建造物の再生設計/意匠設計	木下龍一氏、笠原啓史氏 (建築家)
		演習 2 の講評 講座終了レポートの中間報告	
11	H27. 6. 6	演習 3 保存・活用相談	NPO 法人古材文化の会の建築家と構造設計家
12	H27. 6. 20	建築基準法・景観法	中山雅永氏 (京都市都市計画局建築指導課)、 山本一博氏 (同景観政策課)
		指物の技法	大谷普賢氏 (伝統工芸士)

		演習3の講評 講座終了レポートの中間報告	
13	H27.7.4	歴史的環境の整備	山崎正史氏（立命館大学教授）
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田教子氏（建築家）
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介氏（建築家）
		講座修了課題中間発表会	
14	H27.7.25	修了課題発表会	

・上級講座（第3期）

回	開催日	内 容	講 師
1	H26.12.13	実践課題の進め方	評価・判定コース 中川等氏（大阪産業大学） 保存・活用コース 古賀芳智氏（建築家） 白石秀知氏 （NPO法人古材文化の会）
		歴史的建造物の調査方法と報告書のまとめ方	
		課題テーマの意見交換	
2	H27.1.31	調査対象の相談	
3	H27.2.14	調査対象の決定・発表	各コース担当者
4	H27.3.28	課題中間報告	各コース担当者
5	H27.4.11	課題中間報告	各コース担当者
6	H27.4.25	評価・判定コース 育成講座演習2の現地指導に参加	各演習担当者
7	H27.5.9	課題中間報告	各コース担当者
8	H27.5.23	課題中間報告	各コース担当者
9	H27.6.6	保存・活用コース 育成講座演習3の現地指導に参加	各演習担当者
10	H27.6.20	課題中間報告	各コース担当者
11	H27.7.4	課題中間報告	各コース担当者
12	H27.7.18	報告書と発表会用レジメの提出及び概略説明	各コース担当者
13	H27.8.8	報告書と発表会用レジメの仮返却	各コース担当者
14	H27.8.19	報告書と発表会用レジメの本提出	
15	H27.8.22	発表会及び修了式	上級講座審査員ほか

6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、良好な景観の形成につなげるための様々な事業を展開している。その中で、景観重要建造物等公的指定の候補になり得ると考えられる京町家等に対し、往訪事業の実施や建物調査報告書の作成等、保全・再生のための支援をもとに、公的指定を推進している。

1件の京町家について、景観重要建造物の指定提案を行い、公的指定につながった。

また、これまで相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向け、継続的に支援を行った結果、3件の公的指定等につながった。(景観重要建造物2件、歴史的風致形成建造物2件)

当財団が支援し、景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の指定につながった案件は計4件で、全体14件の内、約3割を占める。

今後、他3件の公的指定等が予定されている。(国登録有形文化財3件)。

さらに、京町家等6件について、建物調査報告書を作成し、公的指定等に至っていないものについては、引き続き継続的な支援を行っていく。

- ・景観整備機構として指定提案書を提出し、指定につながった案件：1件



景観重要建造物（下京区）

- ・公的指定等に関する支援を行い、指定等につながった案件：3件



歴史的風致形成建造物（東山区）



景観重要建造物（下京区）



歴史的風致形成建造物（左京区）

・公的指定等に関する支援を行い、今後、指定等につながる予定の案件：3件



国登録有形文化財（左京区）



国登録有形文化財（右京区）



国登録有形文化財（南区）

・「京都を彩る建物や庭園」制度の推薦を行い、選定につながった案件：4件



上京区



左京区



左京区【再掲】



伏見区

7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

(1) 京都市景観・まちづくりセンター等管理施設運営

指定管理者として京都市景観・まちづくりセンター等の管理運営を行った。

【指定管理期間：平成 25 年度～28 年度】

利用者数 55,430 人（平成 26 年度末実績 60,554 人）

ア 京のまちかど展示コーナー

京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示施設を運営した。

・利用者数 23,696 人（平成 26 年度末実績 24,118 人）

<利用者拡大に向けた取組>

- ・平成 27 年 11 月関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加
- ・京都市内博物館施設連絡協議会に入会

イ 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営した。

・所蔵資料数（平成 27 年度末時点）

内 訳	点 数
一般書籍	13,854(13,772)
郷土資料	961(861)
行政資料	1,509(1,481)
視聴覚資料	534(531)
雑誌	692(616)
地図、絵本等	777(741)
合計	18,327(18,002)

※（）内は平成 26 年度末時点の点数。

・利用状況

内 訳	平成 27 年度末	平成 26 年度末
利用者数	20,402 人	20,640 人
利用者カード新規発行数	154 枚	174 枚
利用者カード延べ発行数	3,205 枚	2,976 枚
図書等貸出数	1,578 点	2,043 点

<利用者拡大に向けた取組>

・ギャラリートーク

利用者増加に向けた取組の一環として、図書スタッフによる企画展示「上杉本洛中洛外図屏風」を用いたギャラリートークを開催した。

内容：「上杉本洛中洛外図屏風」の見所、関連図書の紹介

開催日	テーマ	出席者
H27. 5. 8	上杉本洛中洛外図屏風と加茂社の葵祭	11
H27. 7. 11	上杉本洛中洛外図屏風と祇園祭	24
H27. 10. 16	上杉本洛中洛外図屏風と時代祭	18
H28. 1. 15	上杉本洛中洛外図屏風に見る正月の行事と遊び	11

・スタンプラリー

絵本、児童書の貸出しでスタンプが10個たまると、まちセンマスコットキャラクター（マチ右衛門と景都（kate））のシールを配付。（GOGO土曜塾（京都市教育委員会発行冊子）7・8月号に、同記事を掲載。）

ウ まちづくり交流サロン

広く一般に開放され、打ち合わせ等ができるサロンを運営した。

エ まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸出しを行った。

<稼働回数> 42回

オ ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸出しを行った。

<稼働回数>

ワークショップルーム1：172回（平成26年度末実績 172回）

ワークショップルーム2：155回（平成26年度末実績 211回）

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

(2) 施設管理に伴う情報発信

ホームページ等の電子媒体を活用し、センターの活動及び情報等を発信した。

- ・ホームページアクセス件数 304,771件（平成26年度末実績 225,656件）
- ・メールマガジンの配信 54回（平成26年度末実績 19回）
- ・メールマガジン購読者数 1,612人（平成26年度末実績 1,511人）

公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

(平成27年度交付実績3件(うち、平成26年度選定の繰越分2件))

※ 平成26年度に選定した案件のうち、平成27年度に繰り越した案件は、田中邸及び谷村邸を含む3件であるが、うち1件については辞退された。

【助成案件】

田中邸(上京区・H26選定)



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具、平格子の改修

活用の概要：住居

谷村邸(上京区・H26選定)



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の改修
- ・外壁の補修
- ・外部建具、出格子の補修
- ・駒寄の設置

活用の概要：住居

高田邸(下京区・H27選定)



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機カバー、犬矢来の設置

活用の概要：住居

収益事業

京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業【新規事業】

京町家の保全・再生・活用の促進を図ることにより、京町家の減少、空き家化を防ぐことを目的として、クラウドファンディングを活用した京町家の空き家活用事業に関する支援を行う。

支援にあたり、一般財団法人民間都市開発推進機構からの資金拠出と京都市からの補助金交付を受け、基金を創設した。

平成27年度は本事業の支援を受けて京町家を再生・活用する事業者の募集に向け、第1回京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を開催し、本事業に係るクラウドファンディングの運営業務を担う指定事業者を選定した。

(1) 事業概要

ア 当財団に基金を設立する。

イ クラウドファンド委員会で選定された京町家活用事業者（以下、支援対象事業者という）は京町家の改修費用等について投資額目標を定め、クラウドファンディングを実施する。目標額の1/2を超えたものの目標額に達しなかった事業に対し、目標額との差額分を基金から投資する。また、クラウドファンディングのコーディネーター費用の一部を基金から助成する。

ウ 支援対象事業者は投資者に対し、収益に応じて投資額に基づいた配当を行う。

(2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会

ア 開催日：平成27年3月9日（水）

イ 場所：ひと・まち交流館 京都 地下1階ワークショップルーム

ウ 審議結果：指定事業者候補として応募のあった事業者のうち、ミュージックセキュリティーズ株式会社を選定候補として答申。

(参考) 平成28年度 スケジュール

- ・ 4月11日 : 活用事業者募集開始（広報発表）
- ・ 4月25日から6月6日 : 事前協議申請受付
- ・ ～7月4日 : 事業選定申請受付
- ・ 7月上旬頃 : 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会委員による現地視察
- ・ 7月中旬～下旬 : 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会開催センターより事業者に、事業選定結果の通知
- ・ 事業選定通知後6箇月以内 : 選定された事業者が指定事業者の事業適正評価調査を受け、クラウドファンディングの利用を開始

法人運営

1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

【理事会】

回	開催日	主要審議事項
第12回	H27.5.18	平成26年度事業報告及び決算について 平成27年度補正予算について
第13回 (書面理事会)	H27.6.9	理事長の選任について
第14回	H27.10.28	平成27年度事業執行状況について
第15回	H28.3.10	平成28年度事業計画及び収支予算について

【評議員会】

回	開催日	主要審議事項
第7回	H27.6.9	理事及び監事の選任について 平成26年度事業報告及び決算について
第8回	H28.3.29	平成28年度事業計画及び収支予算の報告について

【評議員選定委員会】

回	開催日	主要審議事項
第3回	H27.6.5	評議員の選任について

2 賛助会員管理

当財団賛助会員管理を行う。

<入会状況>

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	201人(206人)	1,545,000円(1,420,000円)
団体会員	20団体(21団体)	1,100,000円(1,150,000円)
		2,645,000円(2,570,000円)

※ () 内は平成26年度末時点の金額。

【参考】(年間会費)個人(1口) 5,000円

団体(1口) 50,000円

3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、業務研修、新規採用職員研修、ビジネスマナー研修、コンプライアンス研修等の組織内研修や外部研修の活用を行った。

開催日	研修名	講師
H27.4.1-4.8	新任職員研修	当財団職員
H27.6.10	防災研修	ひと・まち交流館管理部
H27.11.18	マイナンバー制度研修	前岡照紀氏(税理士)

H27. 12. 17	ビジネスマナー研修	本多真理子氏
H28. 1. 20	コンプライアンス研修	当財団職員
H28. 2. 12	ビジネスマナー研修	本多真理子氏

4 その他

環境改善の取組として、K E S（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量1%削減 (平成26年度基準)
省資源化	事務用紙使用量削減
啓発活動	建物周辺の清掃 (毎月1回3人以上の参加)
省エネルギー化	京町家カルテ作成 70件